

エコーマシンを作ろう！

11/20 みどりが丘会館

目的：声にエコーのかかる原理を知ってもらう。
エコーがかかった声で楽しむ。

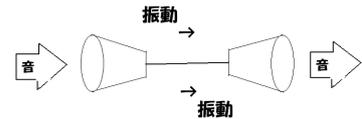
はじめに糸電話(紙コップ+銅線)で声の伝わりを実験。



ビリビリしてるね~!

銅線を指でつまむと
振動しているのが分かります
音は糸電話の線をふるわせて
伝わって行くみたいです。
そしてつまんでいると
声がきこえなくなりました。

声を出すと銅線がビリビリ振動しています



エコーマシンを作ってみよう！

1ℓのペットボトル2本(同じ形の物)、バネ、プラコップ2個、ビニルテープ
を使ってエコーマシンを作りました。

今回ペットボトルの底はスタッフによりくり抜いてありましたが、
首の部分を取り取ったり、バネの先をコップに差し込んで止めたり、
そのバネの反対側はペットボトルを通してもう1個のコップに止めたり
次々と隊員の前に立ちはだかる難関!!!

最後にプラコップをビニルテープで補強しました。



完成！声が響く~!(^o^)-☆

「2個並べたら？」



【特別授業】

実験を早く終えたのでこの HP の付録にもある
『ひもの結び方 10 種』をやってみました。
今の子供たちはひもを結ぶ機会が少なくなって、
経験不足が痛感されます。
アレレ？大人でもなかなかむずかしいぞ！？

